

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子準決勝

試合日: 2017年2月12日(日)
 会場: 県立ゆめドームうえの
 コート: 1A
 開始時間: 9:30~

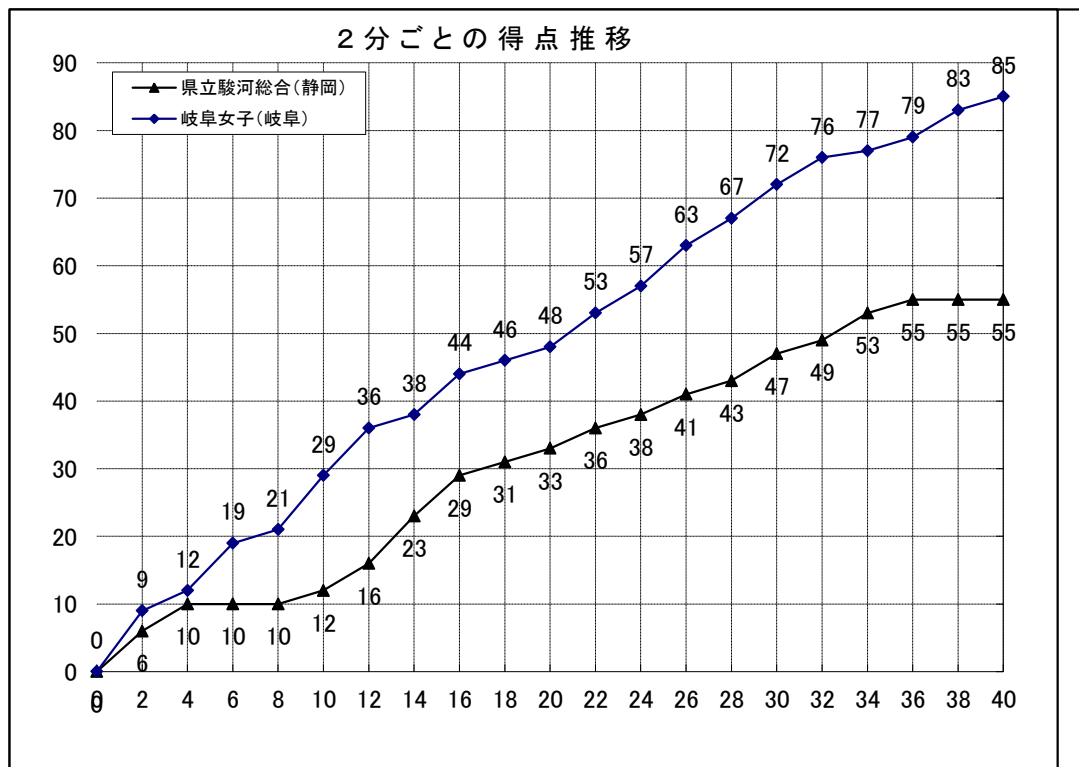
Team A		Team B															
県立駿河総合 (静岡)	55	85															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>-</td><td>29</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>24</td></tr> <tr><td>8</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	12	-	29	21	-	19	14	-	24	8	-	13	-	-	-	岐阜女子 (岐阜)
12	-	29															
21	-	19															
14	-	24															
8	-	13															
-	-	-															

Team A: 県立駿河総合(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	長嶋アンソニー真弥	22	2	7	2									
5	*	西尾 優香	18		7	4	1								
6	*	寺尾 友里	2		1		3								
7	*	小山内バメラウーゴ	2		1		4								
8		永石 華萌													
9		勝又 亜梨沙													
10	*	野村 菜田	9	1	2	2									
11		堀内 はるか	0				2								
12		佐々木 なつみ	2		1										
13		杉山 遼													
14		中山 絵梨花													
15		片桐 明日美													
16		佐々木 萌													
17															
18															
Team/Coach:															
合計			55	3	19	8	10	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 岐阜女子(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	石坂 ひなた	3		1	1									
5	*	池田 沙紀	9	1	3		3								
6	*	木下 七美	7	1	2										
7	*	小野 佑紀	1			1	2								
8	*	バイケン デイサン	50		24	2	2								
9		阪納 百	4		2		1								
10		大場 晴子	2		1		1								
11		江田 晴香	5		2	1	1								
12		杉野 未裕	2		1		1								
13		田中 聖香													
14		熊澤 香奈													
15		楢森 那奈穂	2		1		1								
16		矢野 紗也佳													
17		奥田 かの子													
18		麻生 優莉													
Team/Coach:															
合計			85	2	37	5	12	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q. 両チームハーフコートマンツーマンで始まる。駿河総合は相手の高さの前に苦し紛れのシュートが続く、なかなか決めることができない。一方、岐阜女子は#8にボールを集めゴール下の得点を重ねていく。12-29と岐阜女子リードで終了。

2Q. 岐阜女子は1Q同様、#8を中心に攻める。さらに#5の3Pなどで加点する。駿河総合も#4の 1On1 や#5のドライブで反撃、ようやく流れを掴みかけたところで前半が終了、33-48と2Qはほぼ互角の戦いとなる。

3Q. 駿河総合は岐阜女子#8のプレーを2人で止めに行くが、それでも高さにはかない。#4、#5の1On1で加点するものの、岐阜女子ペースで試合は進み47-72と岐阜女子のリードが広がる。

4Q. 岐阜女子は控えメンバーに交代。プレースタイルをスピード重視の走るバスケットに変え、得点を重ねる。駿河総合も#4の 1On1 や#10のドライブで応戦するものの最後まで自分たちのバスケットをさせてもらえず、55-85で試合終了。悔しいゲームとなった。

主審 佐原 佳世

第1副審 加藤 文

第2副審 太田 麻須美

記入者 加藤 友理

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子準決勝

試合日: 2017年2月12日(日)
 会場: 県立ゆめドームうえの
 コート: 1B
 開始時間: 9:30~

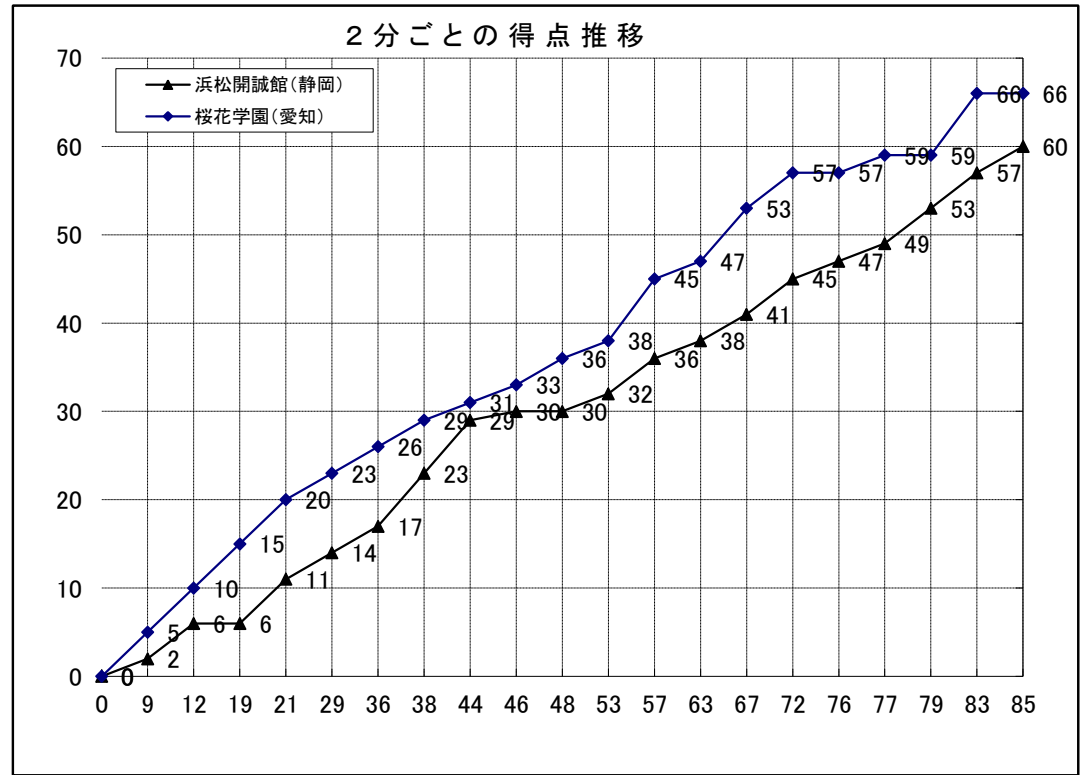
Team A		Team B
浜松開誠館 (静岡)	60	66
	14 - 23	桜花学園 (愛知)
	16 - 13	
	15 - 21	
	15 - 9	
	OT	

Team A: 浜松開誠館(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	石田 悠月	42	2	14	8									
5	*	樋口 菜帆	3		1	1	2								
6		奈須 希咲	3	1			4								
7	*	石牧 葵	6	1	1	1	2								
8	*	鈴木 侑	2			2	1								
9		松本 恵莉													
10		伊藤 美沙希													
11		岩上 夏巳													
12		日比 愛里沙													
13		小幡 桃花													
14	*	伊藤 綾優花	4		2		3								
15		高橋 杏													
16															
17															
18															
Team/Coach:															
合計			60	4	18	12	12	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜花学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	山本 麻衣	21	3	6		4								
5	*	樺島 ほたる	14	4		2	3								
6		坂本 雅													
7	*	藤本 愛瑚	9		4	1	4								
8	*	モハマ 早野夏	15		7	1	2								
9		福島 真衣													
10		出原 菜月	2		1										
11	*	伊森 可琳	5		2	1	5								
12		窪田 真優													
13		桂 蘭													
14		平島 夏歩													
15		國井 直子													
16		那須 仁世													
17															
18															
Team/Coach:															
合計			66	7	20	5	18	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

浜松開誠館④⑤⑦⑧⑭ 桜花学園④⑤⑦⑧⑪

1Q序盤から桜花の激しいディフェンスに開誠館は攻めあぐむ展開となる。桜花は⑧のインサイドを中心にしながら中と外でバランスよく得点する。開誠館も全員でチャンスをつくりドライブや合わせで得点していくが、14-23で桜花が一歩リードする展開となる。

2Q開誠館はインサイドに対するディフェンスを強化し、そこからゴールまで速く展開でシュートまで行く。対する桜花は④⑤のシュートでなんとか持ちこたえるも、開誠館の勢いに押され30-36と点差が縮まって後半へ。

3Q後半になっても開誠館の速さと勢いは止まらない。桜花も④を中心になんとかリードを保つ。終盤、桜花は開誠館のミスから奪ったボールを速攻につなげ、45-57と桜花が再びリードを広げてラストクォーターへ。

4Q開誠館はリードされた分を取り返すため④のドライブを中心に果敢にリングへ向かい徐々に点差を縮める。対する桜花は⑦を起点にノーマークをつくり着実に点にする。後半、開誠館はタイムアウトで流れを変えようとするが、点は届かず60-66で桜花学園が決勝戦へ進出した。

主審	本多 芳隆	第1副審	大江 裕之	第2副審	青山 宜正	記者	川井 美帆子
----	-------	------	-------	------	-------	----	--------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝

試合日：2017年2月12日(日)
会場：県立ゆめドームうえの
コート：2A
開始時間：11:10～

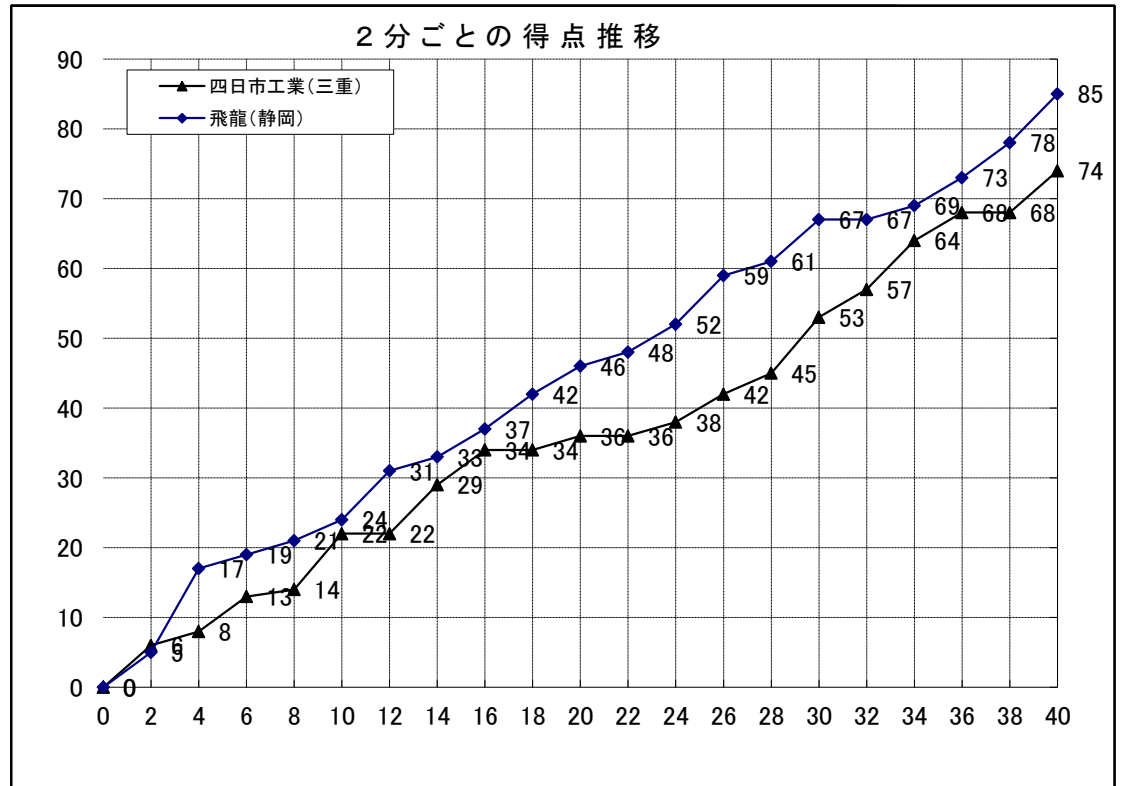
Team A		Team B
県立 四日市工業 (三重)	74	85 飛龍 (静岡)
	22 - 24	
	14 - 22	
	17 - 21	
	21 - 18	
	-	

Team A: 四日市工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊藤 佑一郎	13	1	3	4	3								
5	*	山原 誠也	7		2	3	2								
6		前田 凌玖	2		1										
7	*	野田 憲吾	16		8		4								
8		小村 和馬													
9		倉木 将太	5		2	1									
10		森 健志郎													
11	*	西田 航	4		2		4								
12		中村 憲真													
13	*	水谷 祐葵	27	2	8	5	3								
14		三谷 啓吾													
15		吉門 広晶	0				2								
16		小村 将貴													
17		浜地 航汰													
18		天野 夏暉													
Team/Coach:															
合計			74	3	26	13	18	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊東 潤司	23	5	4		1								
5	*	松下 裕汰	4		2		5								
6	*	金井 星也	3	1			5								
7		西尾 昂也													
8		長谷川 楓弥													
9	*	関屋 心	34	2	11	6	2								
10		曾我 真優				2									
11		杉本 諒	6		2	2									
12		山村 祥太郎	5	1	1		1								
13	*	杉山 裕介	10		5		5								
14		奥村 大翔													
15		張 述愷													
16		石川 歩													
17		牛島 宗揮													
18		原 千容													
Team/Coach:															
合計			85	9	25	8	19	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q. 序盤四日市工業はドライブを中心に得点を重ねる。飛龍もドライブと#4、#6などの3Pと多彩なオフェンスで反撃。22-24と飛龍が2点リードで終了。

2Q. 両チームともディフェンスを頑張る中、四日市工業は#13を中心に、飛龍はスクリーンを多用し得点を入れる。5分過ぎから四日市工業は飛龍の堅いディフェンスを崩せず、得点を奪えない。四日市工業がゾーンディフェンスに変えた後も、飛龍は#13を中心に得点を重ね、36-46と飛龍が10点差をつけて前半を終えた。

3Q. 四日市工業は、依然飛龍のディフェンスを崩せず点数がのびない。一方の飛龍は速いパス回しから得点を重ねる。四日市工業はオールコートゾーンプレスからの得点や#13の連続シュートを決め反撃するが、飛龍も#4の3Pで踏ん張り、53-67と飛龍のリードがやや広がる。

4Q. 四日市工業は#7、#13の1対1で連続得点。ゾーンディフェンスも効果的に決まり、残り4分には3点差まで差を縮める。しかし飛龍は、#4の3Pが決まり、落ち着きを取り戻す。再びディフェンスのプレッシャーを強め再び差を広げる。結局74-85と飛龍が逃げ切り、決勝戦へと駒を進めた。

主審	名越 龍男	第1副審	木下 晋一	第2副審	野々村 日希	記入者	西村 一真
----	-------	------	-------	------	--------	-----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝

試合日: 2017年2月12日(日)
会場: 県立ゆめドームうえの
コート: 2B
開始時間: 11:10~

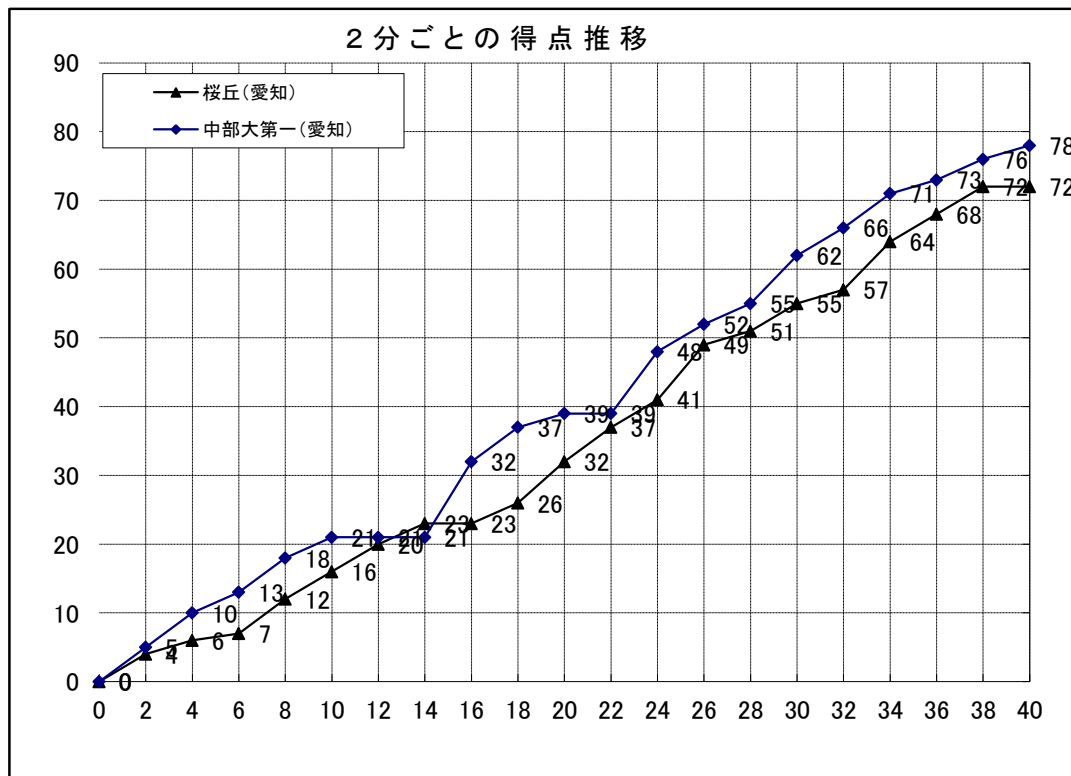
Team A		Team B
桜丘 (愛知)	72	78 中部大第一 (愛知)
	16 - 21 16 - 18 23 - 23 17 - 16 OT	

Team A: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	佐々木 駿	0				1								
5		彦坂 海登													
6	*	今田 涼斗	19	2	6	1	3								
7	*	大井 崇幹	17	1	7		3								
8		中泉 智貴													
9	*	富永 啓生	22	5	1	5									
10	*	DIAGNE COULOU	10		5		4								
11		原田 昇明													
12		小山 時郎													
13		渡辺 薫													
14		高木 遼太郎													
15		小嶋 悠斗	4		2		3								
16		藤田 龍之介													
17		原田 宗輝													
18		大竹 敬也													
Team/Coach:															
合計			72	8	21	6	14	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 中部大第一(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	星野 京介	14	4	1		2								
5	*	坂本 聖芽	37	6	8	3	4								
6		張本 正登	4		2		3								
7		田中 成紀	3	1											
8	*	Boubacar N' diaye	5		2	1									
9		根建 拓己													
10		植木 将太郎													
11		石川 稜祐													
12		大富 健清													
13		矢澤 樹	0				1								
14	*	中村 拓人	15		7	1	4								
15	*	小澤 幸平	0				2								
16		青木 遥平													
17		佐藤 優光													
18		三嶋 宏斗													
Team/Coach:															
合計			78	11	20	5	16	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

桜丘④⑥⑦⑨⑩、中部大第一④⑤⑧⑭⑮でスタート。桜丘は2-3ゾーン、中部大第一はハーフマンツーマン。桜丘⑥のジャンパーで先制。中部大第一も④の3Pですぐ反撃する。出だし、中部大第一④⑤の1on1により中部大第一リードで進む。桜丘も⑨の3Pでついていく。中部大第一は相手チームファウルにより得たフリースローを決めきれず得点が伸び悩む。その間桜丘⑦のドライブ、ジャンパーで2点差までつめるが中部大第一⑤に3Pが決まり5点中部大第一リード1Q終了。

2Q、桜丘は連続得点ですぐさま1点差、そして⑩のリバウンドシュートでついに逆転。その間、中部大第一4分間無得点。しかし、そこから中部大第一④の3Pをかかわりに⑤3Pなどで一挙連続16得点。最大14点差となったが、桜丘⑥⑦のジャンパーで差を引き戻し7点中部大第一リードで前半終了。

3Q、桜丘はアウトサイドが当たりだす。⑨の3本含む計4本を沈め一時逆転。しかし、中部大第一の⑤が今クォータのみで3P2本を含む18得点を量産し譲らない。一進一退を繰り返しながら点差はかわらず3Q終了。

4Q、互いに集中力が高まりデフェンスが締まる。中々得点が動かない時間帯が続く。その中桜丘⑩のジャンパーで1点差までつめる。しかし、逆転の一打がでない中、残り40秒、中部大第一⑭の華麗なユーロステップにより6点差とし、そのまま試合終了。両チームとも迫力あるオフェンスをみせる中、中部大第一が接戦をものした。

主審	角平 和優	第1副審	境 圭介	第2副審	大豆村 斉	記入者	中島 英之
----	-------	------	------	------	-------	-----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子決勝

試合日: 2017年2月12日(日)
 会場: 県立ゆめドームうえの
 コート: 3A
 開始時間: 12:50~

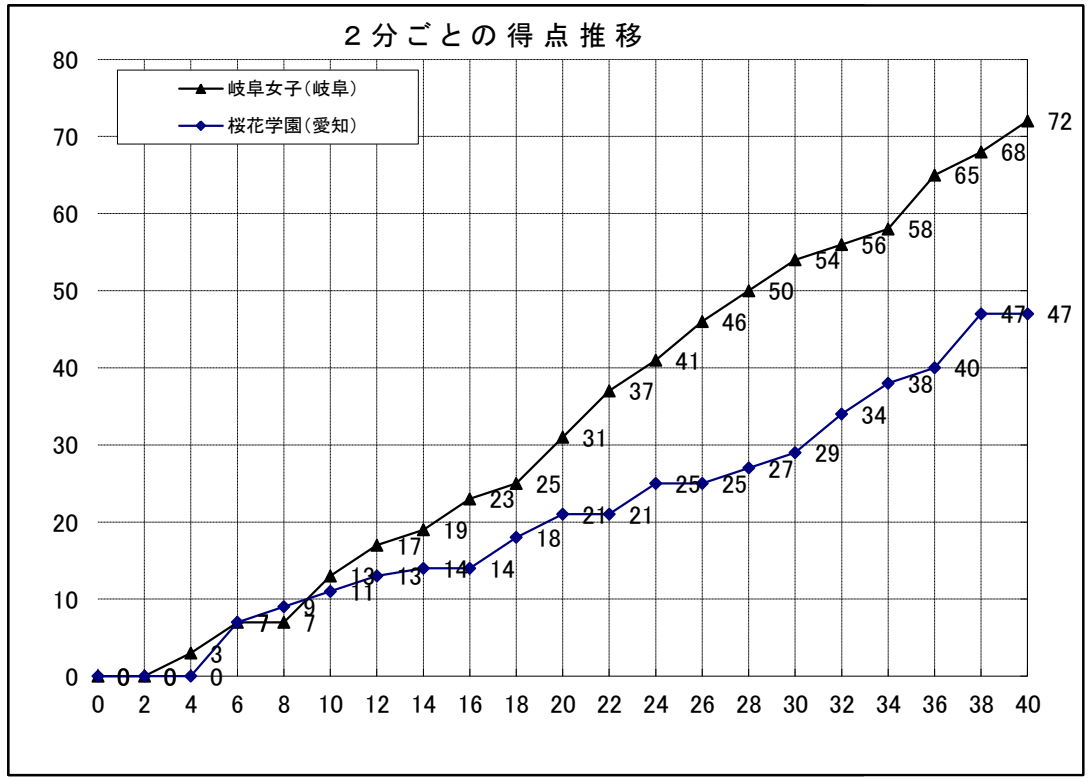
Team A		Team B
岐阜女子 (岐阜)	72	桜花学園 (愛知) 47
	13 - 11	
	18 - 10	
	23 - 8	
	18 - 18	
	-	

Team A: 岐阜女子(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	石坂 ひなた	12	2	2	2	1								
5	*	池田 沙紀	2		1		1								
6	*	木下 七美	5		2	1									
7	*	小野 佑紀	12		5	2	2								
8	*	バイクハ デイサン	37		17	3	2								
9		阪納 百													
10		大場 晴子													
11		江田 晴香	2		1										
12		杉野 未怜	2		1										
13		田中 聖香													
14		熊澤 香香													
15		稲森 那奈穂													
16		矢野 紗也佳													
17		奥田 かの子													
18		麻生 優莉													
Team/Coach:															
合計			72	2	29	8	6	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜花学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	山本 麻衣	7		2	3									
5	*	樺島 ほたる	3	1											
6		坂本 雅	0				1								
7	*	藤本 愛瑚	19	1	8		5								
8	*	モハメド 早野夏	4		2		5								
9		福島 真衣	0				1								
10		出原 菜月	7		3	1									
11	*	伊森 可琳	7		3	1	5								
12		窪田 真優													
13		桂 蘭													
14		平島 夏歩													
15		國井 直子	0				1								
16		那須 仁世													
17															
18															
Team/Coach:															
合計			47	2	18	5	18	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q. 立ち上がり両チームともミスが多く得点が決まらない。岐阜女子は#8にボールを集め、このピリオドだけで11得点。桜花学園も#8が積極的に攻めるがなかなかシュートが決まらず4分過ぎにようやく#7の3Pで初得点。13-11と岐阜女子リードで終わる。

2Q. 岐阜女子は#8のインサイドにボールを集め得点する。桜花学園はなかなかシュートを決めきれず岐阜女子#8の連続ゴールで31-21と10点差をつけ、前半を終了する。

3Q. 岐阜女子は#8のヘルプに対し#7の合わせで得点し、#4の3Pでリードを広げる。桜花学園は岐阜女子の堅いディフェンスから良いシュートが打てずに、リバウンドも拾われリズムがつかめないまま時間が過ぎていく。54-29と岐阜女子が大きくリードを広げ3Q. を終える。

4Q. 桜花学園は#11のバスケットカウントや#7のシュートで流れをつかみ、オールコートのディフェンスで食い下がるがゴール下を支配され、リズムが掴めない。結局点差は縮まらず、72-47で岐阜女子が勝利した。

主審	坂井 佑季子	第1副審	関 博樹	第2副審	川本 正治	記入者	高野 智明
----	--------	------	------	------	-------	-----	-------

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子3位決定戦

試合日: 2017年2月12日(日)
会場: 県立ゆめドームうえの
コート: 3B
開始時間: 12:50~

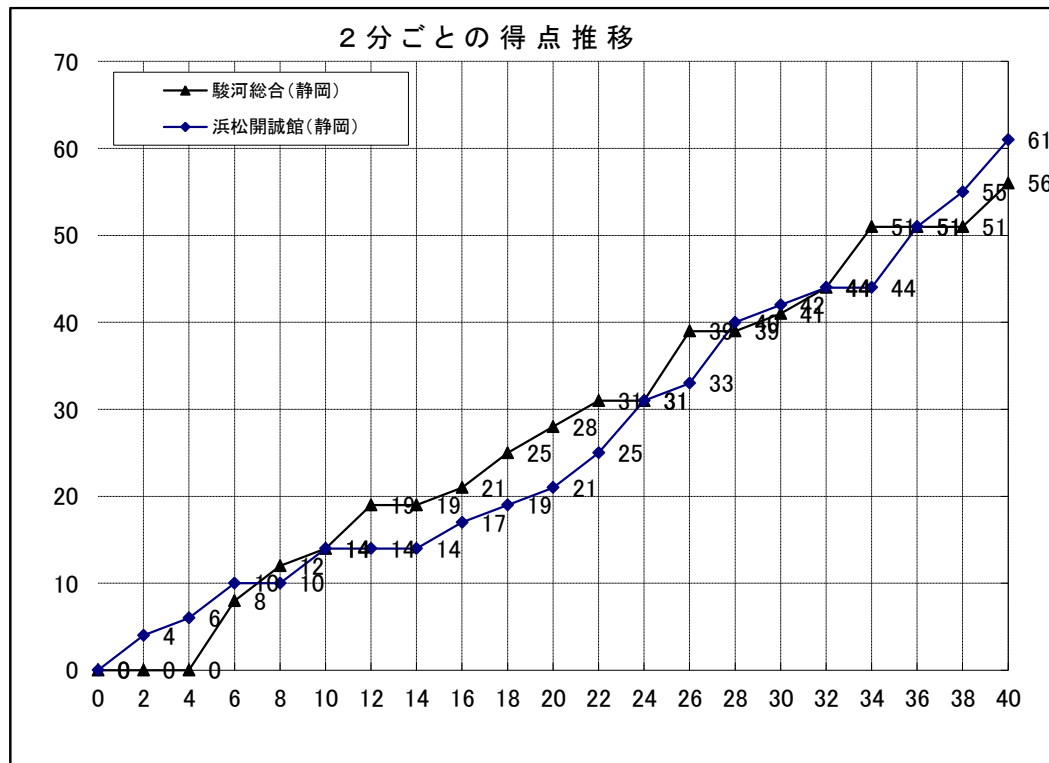
Team A		Team B
駿河総合 (静岡)	56	61 浜松開誠館 (静岡)
	14 - 14	
	14 - 7	
	13 - 21	
	15 - 19	
	OT	

Team A: 駿河総合(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	長鳴 アンツ	15	1	4	4	2								
5	*	西尾 優香	10	1	3	1	1								
6	*	寺尾 友里	6		2	2	2								
7	*	小山内 バメラ													
8		永石 華萌													
9		勝又 曲梨沙													
10	*	野村 菜由	10	2	2		5								
11		堀内 はるか	12	2	3		1								
12		佐々木 なつ													
13		杉山 遼													
14		中山 絵梨花	3	1			1								
15		片桐 明日美													
16		佐々木 萌													
17															
18															
Team/Coach:															
合計			56	7	14	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 浜松開誠館(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	石田 悠月	33	3	11	2	1								
5	*	樋口 菜帆	2		1		1								
6		奈須 希咲	2		1		3								
7	*	石牧 葵	12		3	6	2								
8	*	鈴木 侑	8		4		1								
9		松本 恵莉													
10		伊藤 美沙希													
11		岩上 夏巳													
12		日比 愛里沙													
13		小幡 桃花													
14	*	伊藤 綾優花	4		2		3								
15		高橋 杏													
16															
17															
18															
Team/Coach:															
合計			61	3	22	8	11	0	0	0	0	0	0	0	0



【戦評】

1Q 駿河④⑤⑥⑦⑩ 開誠館④⑤⑦⑧⑭ 両チームマンツーマンでスタート。開誠館は立ちあがり④⑧のドライブなどで6-0とリードするも駿河は⑩の3P、ドライブ、ゴール下のプレーと多彩なで追いつき14-14と同点で1Q終了。

2Q 開誠館はチャンスをつくるがシュートが入らず苦しい展開となる。一方、駿河はシュートが入らないが、そのリバウンドを拾いゴール下シュートを決めじわじわリードを広げ、駿河が28-21で前半を終了する。

3Q 開誠館は④がドライブ、ジャンプシュート、3Pと次々シュートを決め一気に逆転に成功するが、駿河も⑥⑩の活躍で駿河41-42開誠館で3Q終了。

4Q まず、駿河が④⑤⑩が連続でシュートを決め一時は51-44とリードするが開誠館も④⑦ 1on1からシュートを決め、残り2分には逆に55-51とリードする。その後お互い一進一退の攻防を展開するもその差は縮まらず61-56と開誠館が勝利した。

主審 片山 誠太

第1副審 太田 恵理

第2副審

記入者 杉 知幸

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子決勝

試合日：2017年2月12日(日)
会場：県立ゆめドームうえの
コート：4A
開始時間：14:30~

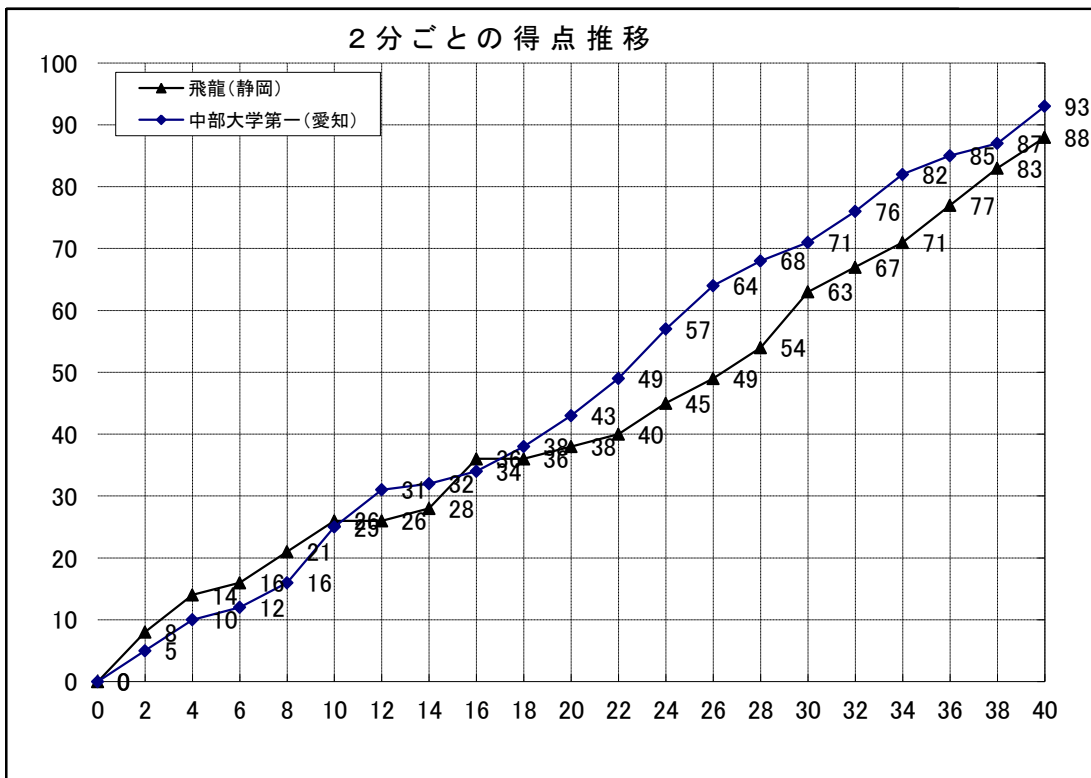
Team A		Team B
飛龍 (静岡)	88	93 中部大学第一 (愛知)
	26 - 25	
	12 - 18	
	25 - 28	
	25 - 22	
	-	

Team A: 飛龍(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊東 潤司	30	8	3		4								
5	*	松下 裕汰	16	2	4	2	2								
6	*	金井 星也	2		1										
7		西尾 昂也													
8		長谷川 楓弥													
9	*	関屋 心	6		3		3								
10		曾我 真優													
11		杉本 諒	2		1										
12		山村 祥太郎	13	3	1	2	2								
13	*	杉山 裕介	9	1	2	2	4								
14		奥村 大翔	10		5		3								
15		張 述愷													
16		石川 歩													
17		牛島 宗揮													
18		原 千容													
Team/Coach:水谷 幸司															
合計			88	14	20	6	18	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 中部大学第一(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	星野 京介	23	5	4		1								
5	*	坂本 聖芽	31	2	11	3									
6		張本 正登	8		4		1								
7		田中 成紀													
8	*	Boubacar N' diaye	14		5	4	2								
9		根建 拓己													
10		植木 将太郎													
11		石川 稜祐													
12		大富 健清													
13		矢澤 樹	1												
14	*	中村 拓人	16		6	4	2								
15	*	小澤 幸平	0				1								
16		青木 遥平													
17		佐藤 優光													
18		三嶋 宏斗													
Team/Coach:															
合計			93	7	30	12	7	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

1Q. 互いにハーフコートマンツーマンでスタート。先制は中部大#5の3Pとなったが、飛龍#6がすぐさまドライブで決め返す。両チームとも#4同士の3Pが確率よく決まり互いに譲らず26-25と飛龍1点のリードで終了。

2Q. 飛龍は1対1のドライブから合わせで得点を決めていく。中部大も#8のスクリーンや#14の1対1を中心に組み立てて試合を展開し、38-43と中部大がリードし、前半を終える。

3Q. スタートのメンバーは変わらず、ハーフコートマンツーマンで後半もスタートする。開始早々飛龍#6が負傷退場、中部大は#8の高さを活かしたプレイを中心としてじわじわ点を離し始めるが、飛龍も#4、#12の連続3Pにより点差を縮め63-71と中部大に食らいつき3Qを終了。

4Q. 互いに譲らない攻防を見せるが残り6分で飛龍はオールコートでプレッシャーをかけ流れをつかみかけるが、中部大#5の3Pなどで得点を重ねていき88-93で試合終了。中部大第一が優勝を飾った。

主審 山内 俊幸

第1副審 加藤 昌樹

第2副審 坂井 元直

記入者 芝野 博考

平成28年度 第30回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子3位決定戦

試合日：2017年2月12日(日)
会場：県立ゆめドームうえの
コート：4B
開始時間：14:30~

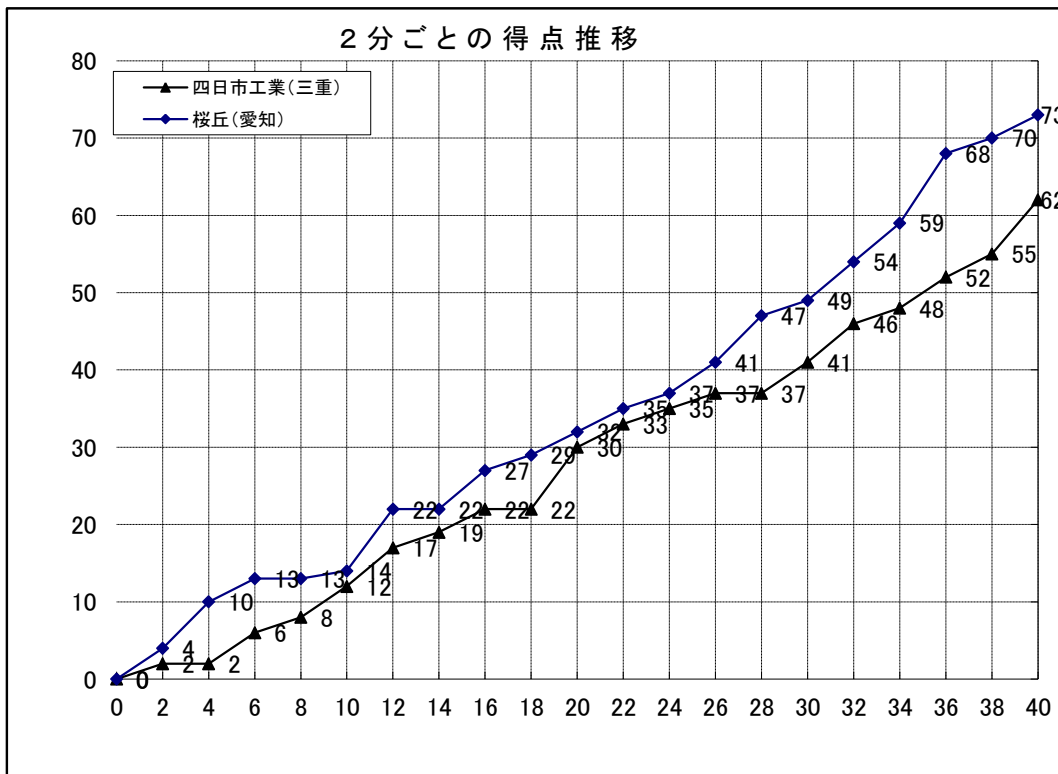
Team A		Team B	
四日市工業 (三重)	62	74	桜丘 (愛知)
	12 - 14 18 - 18 11 - 17 21 - 25 OT		

Team A: 四日市工業(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	伊藤 佑一郎	3	1			3								
5	*	山原 誠也	6		2	2	4								
6		前田 凌坎	3	1											
7	*	野田 憲吾	18		7	4	4								
8		小村 和馬													
9		倉木 将太	4		2										
10		森 健志郎													
11	*	西田 航	4		2		3								
12		中村 憲真													
13	*	水谷 祐葵	18	1	7	1	2								
14		三谷 啓吾	2		1		1								
15		吉門 広晶	4		1	2	3								
16		小村 将貴													
17		浜地 航汰													
18		大野 夏暉													
Team/Coach:															
合計			62	3	22	9	20	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜丘(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		佐々木 駿	2			2	1								
5	*	彦坂 海登	1			1	1								
6	*	今田 涼斗	1			1	1								
7	*	大井 崇幹	2		1		2								
8		中泉 智貴	0				3								
9	*	富永 啓生	40	9	6	1									
10	*	DIAGNE	13		4	5	1								
11		原田 昇明													
12		小山 時郎													
13		渡辺 薫													
14		高木 遼太郎													
15		小嶋 悠斗	7		2	3	3								
16		藤田 龍之介													
17		原田 宗輝													
18		大竹 敬也	8		4										
Team/Coach:															
合計			74	9	17	13	11	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

四日市工業④⑤⑦⑪⑬、桜丘⑤⑥⑦⑨⑩でスタート。四日市工業はオールコートマンツーマン、桜丘2-3ゾーン。桜丘⑩のフリースローで先制。その後も⑨の3Pで一歩抜け出す。対する四日市工業はゾーンディフェンスに苦しみリズムよくシュートを打てず決まらない。その中でも⑦のドライブ等についていき、ブザービーターで⑪がタップを決め点差を2点とし1Q終了。

2Q、四日市工業⑥の3Pで逆転。すかさず桜丘⑨が2本連続3Pで再度逆転。桜丘5点リードで点差が動かない。点を離したいところでターンオーバーが続く。四日市工業は、その隙に着実に点数を重ね残り15秒で⑦のドライブが決まりリードする。しかし、桜丘⑨がブザービーターで3Pを決め桜丘2点リードで前半終了。

3Q、四日市工業は桜丘のゾーンに対してリズムが作れない。対して桜丘は⑨の個人技が冴え、着実にリードを広げる。リバウンドシュートなどで四日市工業は粘り、10点差まで広げられるが一桁差で3Q終了。

4Q、四日市工業のディフェンスの足が止まりだす。桜丘は合わせのプレーで得点を伸ばしていく。追いつきたい四日市工業だがゾーンに対してリズムが作れない。連続して決めることができず徐々に離されていく。最後はしっかりとリードを守った桜丘が勝利をおさめた。

主審 井出 啓太

第1副審 林 大貴

第2副審

記入者 中島 英之